

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-6 再生可能エネルギーの利活用の推進
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課木材振興室長 大國 敏彦	電話番号	0852-22-5156
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	木質バイオマス資源の利用促進（森林整備加速化・林業再生事業）
目的	(1) 対象 市町村など（木質バイオマスを利用したエネルギーの利用者） (2) 意図 木質バイオマスボイラーの導入支援を通じて燃料である木質バイオマスの需要を拡大し、木材に新たな価値をつけることで林業・木材産業を活性化する。
事業概要	木質バイオマス利用機器の導入を促進するため、市町村等が行う施設整備に対して助成金を交付する。

2. 成果参考指標

(1) 指標名	木質バイオマス利用機器の導入台数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		30.00	32.00	32.00	32.00	
式・定義	木質バイオマスを利用したボイラー等の機器導入台数（累計）	実績値	28.00	29.00	30.00	35.00		台
		達成率		96.70	93.80	109.40		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	152,202	43,701
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

木材乾燥機や温浴施設等への木質バイオマスボイラーの導入が着実に進んでいる。
H26年度、3箇所の温浴施設で熱利用ボイラーを導入（累計16箇所）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

熱利用ボイラーの導入を本格的に検討する市町村が増えている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
今後とも市町村の温浴施設や公共施設への木質バイオマスボイラーの整備が計画されているが、国交付金等に依存しており、財源が不安定である。
- ②困っている状況が発生している「原因」
林野庁交付金の予算規模は小さく、事業採択されにくい。
- ③原因を解消するための「課題」
採択されやすくなるよう、事業効果の高い計画を作成すること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

市町村等の木質バイオマスボイラーの整備に対し、事業効果の高い計画作成を支援する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）